

2022 年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2023 年 3 月 30 日
- 事業名 : 『捨てるから創るへ』医療機器リサイクルプラットフォームの事業化
- 資金分配団体 : 九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアム（公益財団法人九州経済調査協会、一般社団法人ユヌス・ジャパン）
- 実行団体 : 株式会社 ホンジョー（2022 年 8 月に本城商店株式会社から社名変更）

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
標準処理システムの導入	対象顧客と採用実績数	目標値⇒15 施設	2023 年 12 月末時点で 15 施設の採用を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年 2 月末時点での採用無し ⇒対象地域を佐賀県から北九州に変更して、取掛り重視の為に製品限定(医療用ベッド)し提案中。 ・コロナ禍：7 波の影響で 2022 年 10 月からの開始となる。 ・医療用ベッドメーカー推奨のライフサイクル処理を参考にした処理手順に沿った手解体と機械処理の実証を大学と協働して行っている。 	3
資産処理情報共有システム開発	システムの開発要件の達成	処理業務後に紙運用で行われている書類提出のデジタル化と運用上の標準的な	2023 年 5 月までに医療用ベッドにおけるシステム化の完成を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド環境下でのデータベース化基礎部分と紙運用のデジタル登録機能は完成 ・資産を限定した(医療用ベッド)製品における手順標準化と効果の指標化をシステムに反映させる要件の検討中 ・過去施設提案実績に基づき、提出書類のデジタル運用の実現 	3

		業務手順の確定及び定量的価値評価指標の共有化	(5月完成後、平行して展開拡大に向けたバージョンアップとカスタマイズは引き続き進める)	にはメドがついて、登録機能としてシステム上で確認済み。 ・パラマウント社の医療用ベッドにおいて、製造メーカー側の処理管理形態をシステムに取り込み指標化する実証展開を2022年10月より開始予定。 ・ターゲット地域(北九州市)内の病院からのベッド処理依頼が例年に比べ遅れており、過去実績分での見なし実証をシステム導入への参考として検証中。	
残存価値	医療施設からの資産の査定評価依頼施設数	査定施設数：60施設 処理実績目標値：40施設	2023年12月までに60施設を行い40施設の処理実績を目指す(継続査定に繋がる提案数も考慮する)	2023年2月末までに 査定病院数：40施設 実績病院数：27施設 ⇒査定が単発であり、継続性があまり見込めない状況 ・ベッドの査定はメーカー側紹介により継続性あり。 ・査定は進められているが標準処理としてシステム導入出来る形での運用が行えていない。	3
バリューチェーン 関係機関の参加	協議会及びプロジェクト参加機関数	・バリューチェーン上の各業務関係者で、各々5社を予定(今回医療用ベッド市場はP社が独占状態にあり、製造メーカー数を3社に限定した)	2023年12月までに ・製造メーカー：3社 ・医療機販社：10社 ・産廃物関係：10社 ・大学：2大学	2023年2月末までに ・製造メーカー：1社 ・医療機販社：5社 ・産廃物関係：5社 ・大学：1大学(北九州大) ⇒3年越しのコロナ禍で病院側とのプロジェクトにおける連携が取れない事で、バリューチェーン関係企業側も動機付けが弱い。 ・今回具体的な医療用ベッドでのライフサイクル実証を証拠として進められれば、流れは大きく変わると思われる。	3

		・環境・社会性評価のノウハウを持つ大学との連携関係も構築		・関係事業者の活動が成果として見える化できる事に理解が進めば参加協力者が増えると考え。	
構築されたシステムを通じた適切な処理	システムを通じて処理されたベッド数	システム利用による実績目標値：100台	2023年12月までに標準処理400台のうちシステムを通じ100台処理を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年2月末までにシステムの準備整わず事例無し。 ・標準処理実績は200台の実績あり。 ⇒システム内で管理する資産処理を全種類の医療機器資産から医療用ベッドに限定して進める事で早期システム構築を進めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療用ベッドの製品構成素材が限定的でシステム構築がスピードアップ出来ると考えている。 ・医療等ベッド処理時の手解体と破砕処理についての見なし定量評価は、北九州市立大学への持込み実証実験で試行済み。 	3

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
3.課題がある
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input checked="" type="checkbox"/> アウトカムの目標値

3. (任意) 活動に関する報告

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2. 広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

- ・一般社団法人 SINKa 様：休眠勉強会での Zoom でのプレゼン⇒ 2022 年 8 月 9 日(火) 16時からプレゼン：30分程度、質疑：30分
- ・くるめソーシャルビジネスセミナー参加での久留米大学との連携提案⇒ 2022 年 9 月 24 日(土) 15時から1時間

2.広報制作物等

- ・休眠預金助成金事業採択を名刺に明示(ロゴの記入)して、営業及び提案活動に利用

3.報告書等

- ・筑邦銀行：DX 推進部への金融機関の新ソリューションとしての連携提案及び既顧客への紹介のお願い⇒ 2022 年 8 月 8 日(月) 1時間程度
- ・NTT 西日本：九州支店長とビジネスソリューションズ：グループ長への情報共有プラットフォームを介したアグリゲーションサービスの検討を提案
⇒2022 年 9 月 21 日(水) 1時間
- ・北九州市立大学（マネジメント研究所・松永教授）：プロジェクト推進及び事業評価支援のマネジメント契約⇒2022 年 6 月
- ・北九州市立大学(環境技術研究所・松本教授)：資産処理の定量的評価の実証の共同研究契約⇒2022 年 6 月

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input checked="" type="checkbox"/> 未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：

現状、ホームページ変更中で、完成後に行います。

5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：

6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)

内部監査を実施 外部監査を実施 実施する予定がない

→「実施する予定がない」を選択した場合の理由：